

石川保険医新聞 2021年1月号原稿募集

募集テーマ 新型コロナウイルス よもやま話

『石川保険医新聞』2021年1月号の原稿募集テーマは、2020年8月号に引き続き、「新型コロナウイルスよもやま話」です。今年2月末から、診療に日常生活にと多くの会員の先生方も翻弄される日々かと思えます。診療上での苦勞・困ったこと、それをどのような工夫で乗り切ったか、今後に備えて取り組んでいること、「ステイホーム」での楽しみ方など、「新型コロナウイルス」に関する内容をお寄せください。（編集部）

原稿の送り方

- ◆字数は800字以内(厳守)
 - ◆原稿締め切りは12月10日(木)正午・必着
 - ◆原稿はデータをEメールにてお送りください。Eメールでの送付が難しい場合は、郵送・FAXでも受け付けております。
- メールアドレス ishikawa-hok@doc-net.or.jp
FAX番号 076(231)5156
住所 〒920-0902 石川県金沢市尾張町2-8-23
太陽生命金沢ビル8階
- ◆投稿は保険医協会会員ご本人のほか、ご家族・スタッフからも受け付けております。



『文部科学省2018年版「中学生・高校生のための放射線副読本」の問題点』
発行日 2020年6月
発行元 反核医師の会
価格 150円

『中学生・高校生のための放射線副読本』の問題点。2018年10月には当時の状況が変化しているとの理由でさらに改訂され、現状の汚染状況を示すような記載はほぼなくなり、原発事故からの復興のあゆみの記載が多くなり、

本来、事故の当事国である日本は事故後を生きる子どもたちに対ししっかりと事実を伝え、放射線の利用に関して事実を元に考えさせるような副読本を作るべきだと思われま。事故から10年が経過しようとしている今だからこそ、この冊子と副読本を読み比べて正しい知識を再確認していく必要があると思います。

初回の副読本から様々な問題点を指摘されていましたが、今回の改訂版も様々な方から多くの問題点が指摘されています。今回ご紹介するものは、「核戦争に反対する医師の会」による『中学生・高校生のための放射線副読本』の問題点という冊子です。この冊子は今回の副読本と同様の章立てをして、記載している内容に対する批判を行っています。細かい部分でやや詰めの甘い部分もありますが、文科省の副読本の問題点はしっかりと指摘されています。



ランチには讃岐うどんのセット

人気である。私のおすすめはフルーツ盛りだくさんのフルーツパフェ（かなりのボリューム）で、私はこれだけでお腹がいっぱいになる。夏の間は

ハスネテラスというお店をご存知か？金沢市の北、内灘の近くにあるスイーツと自家製うどんのお店である。私の診療所から5分くらいで着くので、ちょくちょく利用させてもらっている。ここでは、障害のある人の自立を支援するために、就労の機会を提供する就労支援事業所である。なので、お店の中では障害のない人もある人も、従業員として分け隔てなく一緒に働いている。うちに通院している患者さんもこの従業員として働いている。今では、すっかりこのスタイルが気に入っている。

私がお昼に行くことが多く、日替わりランチをいただくことが多い。この日も、ランチをチョイスしたので、このランチの特徴なのだが、洋風なので、障害の初期は「??」と思ったが、慣れてくるとこのシオンがなんとも良いのである。今では、すっかりこのスタイルが気に入っている。読者諸氏も、一度来店されることをお勧めする。



ハスネテラス



ハスネテラス 洋風ランチに自家製うどん

大平三四郎（金沢市・歯科）

会員の皆さまのお気に入りの食べどころの投稿を募集しています。原稿は400字程度、写真も一緒にお送りください。（編集部）

メール ishikawa-hok@doc-net.or.jp
FAX 076-231-5156

シリーズ 原発・いのち・みらい その59

『中学生・高校生のための放射線副読本』の問題点

種市 靖行（白山市・整形外科）

東京電力福島第一原発事故から10年を迎えますが、事故を起こした原発の廃炉はまだ目処が立たず帰還困難区域も残存して倍首相（当時）は、東京オ

おり、原子力緊急事態宣言は現在でも解除されていません。しかし、2013年9月7日にIOC総会で安んずるための教育でも同様で、事故直後の2011年10月に文科省から発行された『中学生・高校生のための放射線副読本』では、事故後の汚染に関する記載が矮小化されています。2018年10月には当時の状況が変化しているとの理由でさらに改訂され、現状の汚染状況を示すような記載はほぼなくなり、原発事故からの復興のあゆみの記載が多くなり、



文部科学省発行の『中学生・高校生のための放射線副読本』